

## 令和2年度事業報告

本報告は、定款第39条に基づき監事の監査を受け令和3年度第1回理事会にて承認を得ております。

### 公益社団法人日本栄養・食糧学会 令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）事業報告

#### <概要>

平成23年9月1日の公益社団法人化からの第10期目として、4月1日より令和2年度の各事業をスタートさせた。5月23日に社員総会を開催し、2019年度決算書の件、次期理事、次期監事選任の件につき議決するとともに、2020年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件、2019年度事業報告等の報告を承認した。

2019年度事業報告、同年度決算書については令和2年6月25日に、また、2020年度事業計画、同年度収支予算計画については令和2年3月28日に内閣府に報告した。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1事業）として、次の行動を行った。東北支部の担当による第74回年次大会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、社員総会のみを5月23日にWEB開催し、前年度の事業報告、決算報告を審議するとともに、新理事、新監事の選任を行った。また、2020年度の事業計画、予算を確定した。社員総会はオンラインで開催したが、事前に総会資料と議決権行使書を代議員（社員）に配布し、提出いただいたため、代議員の出席率は82.6%（100名/121名）となった。この社員総会終了後、多くの会員から学会発表の機会が欲しいとの要望が多く寄せられたため、9月20日に東北大学の実行委員会が、オンラインの学術大会を開催した。参加者は、約500名となり、盛況であった。また、この学術大会から、プレスリリースするための話題性の高い演題について、トピックス賞を設け、10名に賞状と副賞を授与した。

支部事業については、全支部において、それぞれに相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公2事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（第73巻2号～6号、第74巻1号）し、欧文誌 JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会とともに構成している JNSV 編集委員会が中心となって、数年来検討を続けてきたペーパーレス化を実施し、その結果、サイテーションインデックスも徐々に上がり、現在 1.41 となっている。令和2年末には、欧文誌 JNSV の編集に FANS (Federation of Asian Nutrition Societies) が加わり、国際展開が加速しつつある。

理事会を中心に、公益法人としてのガバナンスの向上、会員サービスの向上に努め、利益相反（COI）については、「栄養・食糧学研究の利益相反に関する指針」並びにその細則の改訂案について、本格運用を開始した。申告者の利便性向上の観点から、更なる制度改良を検討中である。また、年次大会参加者の利便性向上の観点から、講演要旨集の Web 公開を継続実施している。

加えて平成27年度に新設した技術賞の選考を行い、2件の授与を決定し、本学会における産官学連携のさらなる推進を図った。

若手会員の活性化を目指した事業の検討を、学会活動強化委員会を中心に進め、昨年度に引き続き、個人会員1名からの寄付を得て、若手研究助成の対象枠を1名増とするとともに、学生優秀発表賞を次年度も継続すべく準備を行った。

## I 会員の動き

### 1) 会員の状況（令和3年3月31日現在）

名誉会員	38名
終身会員	160名
正会員	2703名
学生会員	660名
団体会員	59件
賛助会員	69件（81口）
学会誌定期購読団体	106件

### 2) 令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）物故会員（敬称略）

名誉会員：沖谷 明紘、村松 敬一郎  
終身会員：明橋 八郎、印南 敏、上野 三郎、坂梨 照子、苫米地 孝之助、目黒 熙、山口 迪夫  
正会員：藤井 久雄、和田 小依里

### 3) 支部別会員数 令和3年3月31日付

支部名	会員種別		正会員		学生会員		団体会員		賛助会員	
	名誉会員	終身会員							[口数]	
北海道支部	0 (± 0)	7 (± 0)	81 (− 4)	47 (+ 10)	1 (± 0)	1 [1]	(± 0)			
東北支部	2 (± 0)	10 (± 0)	152 (− 5)	46 (+ 1)	1 (± 0)	0 [0]	(± 0)			
関東支部	20 (+ 2)	61 (+ 2)	1036 (− 88)	200 (− 13)	31 (− 1)	57 [69]	(− 1)			
中部支部	2 (− 1)	18 (± 0)	344 (− 21)	79 (− 29)	4 (± 0)	3 [3]	(± 0)			
近畿支部	5 (± 0)	39 (− 1)	577 (− 25)	154 (− 16)	9 (± 0)	6 [6]	(± 0)			
中国・四国支部	3 (± 0)	14 (+ 1)	275 (− 20)	85 (− 12)	10 (± 0)	2 [2]	(± 0)			
九州・沖縄支部	6 (± 0)	11 (± 0)	232 (− 7)	47 (− 22)	3 (− 1)	0 [0]	(± 0)			
海外	0 (± 0)	0 (± 0)	6 (+ 1)	2 (− 1)	0 (± 0)	0 [0]	(± 0)			
合計	38 (+ 1)	160 (+ 2)	2703 (− 169)	660 (− 82)	59 (− 2)	69 [81]	(± 0)			

( ) 内は令和2年3月31日会員数に対する増減を示す。

## II 各種事業活動の推進報告

### <栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1）>

#### 1) 大会事業

(1) 第74回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 宮澤 陽夫 東北大学未来科学技術共同研究センター プロジェクトリーダー・教授）

令和2年5月15日（金）～17日（日） COVID-19感染拡大により大会中止

令和2年5月23日（土） 13:00～15:00 議決権行使書による評決及びテレビ会議による令和2年度社員総会開催

令和2年6月13日（土） 学生優秀賞発表・審査

令和2年9月20日（日） 10:00～17:00 Web開催にて特別講演、受賞者講演、ポスター発表

一般講演 509題

参加者数 906名

特別講演

「東京栄養サミットに向けて期待されるアカデミアの役割」

江副 聡（外務省国際協力局）

「日本人の食事摂取基準2020年版 概要と改定のポイント」

上西 一弘（女子栄養大学）

「日本食品標準成分表におけるエネルギー計算の変更について」

松本 万里（文部科学省科学技術・学術政策局）

#### (2) 支部事業

##### ①北海道支部

\*第50回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

令和2年12月12日（土）、13日（日） WEB開催

日本農芸化学会北海道支部と合同支部大会およびシンポジウム

シンポジウム「麹菌の最先端研究」

「黄麹菌の細胞融合と不和合性の生物学～有性生殖による交配育種の実現に向けて」

丸山 潤一（東京大学大学院）

「麹菌のクエン酸生産能力の鍵をにぎる排出輸送体」

二神 泰基（鹿児島大学）

「黒麹菌による泡盛の特徴香1-オクテン-3-オールの生産とその生合成機構について」

渡邊 泰祐（日本大学）

参加者数 185名（内 非会員 150名）

一般講演 50題

##### ②東北支部

\*第54回日本栄養・食糧学会東北支部大会およびシンポジウム

令和2年10月31日（土） 秋田県立大学、岩手大学、東北大学並びに個別接続によるハイブリッド形式

会頭：吉澤 結子（秋田県立大学）

シンポジウム「機能性作物の栽培と栄養」

「機能性野菜の生産技術と今後の展開」

中野 明正（千葉大学）

「機能性表示農産物の開発状況と制度改正」

山本（前田）万里（（国）農研機構）

「栽培環境制御による高機能性野菜の栽培方法の開発とその普及に向けて」

小川 敦史（秋田県立大学）

「腎不全患者での低カリウムレタス摂取の安全性と、腎機能別におけるカリウム値の分布の検討」

中山 陽介（久留米大学）

参加者数 48名（内 非会員 23名）

40名（オンラインでの個人参加）

一般議題 14題

##### ③関東支部

\*第105回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

令和2年9月19日（土） オンライン開催

世話人：井上 順（東京農業大学）

シンポジウム「エピゲノム研究の最前線と栄養学からみたエピゲノム制御」

「妊娠時低栄養による食塩感受性高血圧発症機序」

西本 光宏（東京大学）

「免疫細胞の分化・腫瘍化を制御するエピジェネティクス」

伊川 友活（東京理科大学）

「栄養と外部環境による脂肪のエピゲノム制御」

稲垣 毅（群馬大学）

「胎児期低タンパク質暴露による食塩感受性高血圧とエピゲノム」

加藤 久典（東京大学大学院）

「栄養学からみたエピゲノム記憶」

小川 佳宏（九州大学大学院）

参加者数 301名（内 非会員 127名）

一般講演 5題

\*第106回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

令和3年2月6日（土） WEB開催

世話人：上西 一弘（女子栄養大学）

シンポジウム「食べ物のおいしさ研究の最前線2021」

「マヨネーズのおいしさとコク」

「食べ物のコクとコク味物質」

「香りの可視化へのアプローチ：香りとの調和」

「おいしさを脳で測定する先端的アプローチ：多感覚の相互作用の解明」

「おいしさの物差しは学習で作られる」

参加者数 222名（内 非会員 164名）

柳澤 琢也（キューピー株式会社）

黒田 素央（味の素株式会社）

野尻 健介（長谷川香料株式会社）

岡本 雅子（東京大学）

和田 有史（立命館大学）

\*第23回健康栄養シンポジウム

令和3年2月20日（土） WEB開催

シンポジウム「新時代に備える免疫力を高める食品成分」

教育講演「食と免疫～腸管の重要性」

清水 誠（東京大学名誉教授）

特別講演「肥満は炎症や免疫に影響し、新型コロナウイルス感染症を重症化させる」

宮崎 滋（（公財）総合健診推進センター）

「生体防御機能における必須栄養素の役割と機能」

國澤 純（（国）医薬基盤・健康・栄養研究所）

「乳酸菌と免疫、腸管免疫について」

辻 典子（産業技術総合研究所）

「ポリフェノール、茶カテキンによる免疫機能の活性化と感染症予防」

山田 浩（静岡県立大学）

参加者数 483名（内 非会員 351名）

④中部支部

\*第77回日本栄養・食糧学会中部支部大会

令和2年11月21日（土） オンライン開催

会頭：小田 裕昭（名古屋大学大学院）

特別講演

「HDL粒子産生の栄養学的制御」

横山 信治（中部大学）

シンポジウム「中部地方の食品・栄養の最新研究」

「グルコース活性化転写因子ChREBPと栄養/疾患の関わりについて」

飯塚 勝美（岐阜大学大学院）

「緑茶と小豆の卵巣抽出モデルマウスでの抗骨粗鬆症効果について」

西尾 昌洋（三重大学大学院）

「消化管の中の固形粒子の働き」

高橋 徹（金沢学院大学）

「食品による内部被ばくのリスク低減を目指してー腸管におけるセシウム移行に対する食品成分の効果ー」

保田 倫子（椋山女学園大学）

参加者数 69名（内 非会員 16名）

一般講演 0題

⑤近畿支部

\*第59回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

令和2年11月14日（土） 大阪府立大学（WEB開催）

令和2年11月20日（金）まで公開特別講演（オンデマンドオンライン）

会頭：乾 博（大阪府立大学）

公開特別講演「ビタミンの栄養と健康機能」

「ビタミンCの新しい健康機能ー新型コロナウイルスに対するCの効果を考える」

石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所）

「ビタミン不足とサプリメントの上手な使い方」

阿部 皓一（武蔵野大学）

参加者数 66名（内 非会員 4名）

一般演題 45題

\*第11回栄養学を志す若手のためのフォーラム

令和2年12月12日（土） Web開催

日本栄養改善学会近畿支部共催

参加者数 32名（内 非会員 19名）

⑥中国・四国支部

\*第53回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会

令和2年10月24日（土）、25日（日）山口県立大学 看護栄養学部 栄養学科（オンライン開催）

会頭：人見 英里（山口県立大学）

特別講演

「腸管免疫（分泌型IgA）と腸内細菌の相互作用に油脂の摂取が及ぼす影響」

鶴田 剛司（岡山大学大学院）

「プレジジョン栄養学ー個別化栄養の未来と時間栄養学の展開ー」

小田 裕昭（名古屋大学大学院）

参加者数 155名（内 非会員 19名）

一般講演 26題

⑦九州・沖縄支部

\*令和2年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

令和2年11月28日（土）、29日（日）（オンライン開催）

会頭：西園 祥子（崇城大学）

特別講演「「長寿安心くまもと」における健康科学的取り組み」

「糖代謝から見た健康長寿・ブルーサークル2050」

吉永 佳代（熊本大学）

「医食同源の観点より糖化やコレステロールの蓄積を予防する機能性成分の探索研究」

池田 剛（崇城大学）

「天草産モリンガを主原料とする機能性表示食品の開発」

西園 祥子（崇城大学）

参加者数 46名（内 非会員 20名）

一般講演 15題

## 2) 大会事業準備

(1) 第75回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 加藤久典）

令和3年6月5日（土）

\*社員総会

\*授賞式、功労賞受賞者挨拶

令和3年7月3日（土）、4日（日）

\*特別講演 3題

\*シンポジウム 11テーマ

\*一般講演 354題

(2) 第76回日本栄養・食糧学会大会開催準備

令和4年6月10日（金）～6月12日（日） 兵庫県神戸市、西宮市

近畿支部（大会準備責任者 芦田 均 神戸大学大学院）が開催担当支部として準備を進めた。

(3) 第77回日本栄養・食糧学会大会開催準備

令和5年

北海道支部（大会準備責任者 園山 慶 北海道大学大学院）が開催担当支部として決定

## 3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第1回各種授賞等選考委員会（6/27）がWeb開催され、委員長決定、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会（12/26）がWeb開催され、令和3年度表彰の功労賞2件、学会賞2件、奨励賞3件、技術賞2件、栄養・食糧学基金研究助成対象者2件、栄養・食糧学基金若手助成対象者2件を推薦し理事会に上申した。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

①学術企画の支援として学会活動強化費申請（4件）のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。

②栄養・食糧学基金研究助成・若手研究助成・国際助成の審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。

③学生優秀発表賞の応募、選考を行った。

(4) 令和2年度表彰授与式開催

①令和2年度受賞者

功労賞	2件	辻 英明	三浦 理代
学会賞	2件	上原万里子	福島 道広
奨励賞	3件	岡崎由佳子	岸本 良美 水重 貴文
技術賞	2件	キューピー株式会社	（松岡 亮輔、木村 守、 キューピータマゴ株式会社 児嶋 高志、有満 和人）
		株式会社ヤクルト本社	（河合 光久、加藤 豪人、高田 麻衣、星 遼太郎、 徳島大学大学院 西田 憲生）

②令和2年度栄養・食糧学基金研究助成者

栄養・食糧学基金研究助成	北浦 靖之	山下 陽子
栄養・食糧学基金若手研究助成	青山 晋也	田中未央里 真鍋 祐樹

(5) 令和3年度対象の各賞候補者の公募、栄養・食糧学基金の研究助成・若手研究助成対象者募集記事を学会誌第73巻4号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。栄養・食糧学基金 国際交流助成令和2年度後期の募集を学会誌第73巻3号・令和3年度前期の募集を73巻6号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。

(6) 表彰事業の協賛のため3企業・団体へ依頼し応諾された。

(7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

①研究褒賞候補者推薦依頼

天野エンザイム(株)/酵素応用シンポジウム研究奨励賞 (公財)安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞  
(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団/飯島藤十郎食品科学賞&飯島藤十郎食品技術賞  
(公財)上原記念生命科学財団/上原賞 (公財)SGH財団/SGH特別賞  
(公財)木原記念横浜生命科学振興財団/学術賞 慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞

(公財)小林財団/小林賞  
 (公財)杉浦記念財団/杉浦地域医療振興賞  
 第一生命保険株式会社/保健文化賞  
 (一財)東京顕微鏡院/遠山椿吉記念、健康予防医療賞  
 (一社)日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞  
 (公社)日本看護協会・ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ/ヘルシー・ソサエティ賞  
 (一社)日本病院会  
 福井県小浜市/杉田玄白賞  
 (公財)森永奉仕会/森永奉仕会賞

(一財)材料科学技術振興財団/山崎貞一賞  
 (公社)全日本病院協会/山上の光賞  
 (公財)辻静雄食文化財団/辻静雄食文化賞  
 (公財)内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞  
 (独)日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞  
 (一財)バイオインダストリー協会/大賞・奨励賞  
 (公財)三島海雲記念財団/三島海雲学術賞

②研究助成募集の周知

(公財)味の素の文化センター  
 一正蒲鉾株式会社  
 (公財)上原記念生命科学財団  
 (公財)浦上食品・食文化振興財団  
 (一財)旗影会  
 (一財)キャノン財団  
 国立研究開発法人科学技術振興機構  
 (一財)サンスター財団  
 (公財)杉浦記念財団  
 (公財)ソルト・サイエンス研究財団  
 (公財)ダノン健康栄養財団  
 (公財)内藤記念科学振興財団  
 (公財)ニッポンハム食の未来財団  
 (公財)日本食品化学振興財団  
 (公財)ホクト生物科学振興財団  
 (公財)三島海雲記念財団  
 やずや 食と健康研究所  
 (公財)山田科学振興財団

(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団  
 (公財)医療科学研究所  
 うま味研究会  
 (公財)エリザベス・アーノルド富士財団  
 (一財)キーコーヒー柴田裕記念財団  
 公益信託家政学研究助成基金  
 (公財)サッポロ生物科学振興財団  
 (一社)Jミルク  
 (公財)住友生命健康財団  
 (公財)タカノ農芸化学研究助成財団  
 (公財)東洋食品研究所  
 (公財)日本科学協会  
 日本ゴマ科学会  
 (独) 農畜産業振興機構  
 (公財)本庄国際奨学財団  
 (公財)森永奉仕会  
 (公財)山崎香辛料振興財団  
 (公財)ロッテ財団

(8) 外部団体への推薦

①公益財団法人 森永奉仕会

令和2年度森永奉仕会賞

各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦

②公益財団法人山田科学振興財団

2021年度研究援助候補者

各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

大会時の関連学術集会は、第74回大会集集中止のため開催せず。

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記2テーマで、栄養成分表示・栄養教育の検討は非常置委員会として、栄養・食糧学用語に関する検討は平成28年度より常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。

以下各テーマについて主な進捗を報告する。

(1) 栄養成分表示・栄養教育の検討

食事摂取基準の改定の進捗状況を検討しつつ、第73回大会において日本人の摂取基準(2020年版)に関するシンポジウムを開催した。講演内容について学会誌への投稿をシンポジストに依頼し、73巻5号及び73巻6号に一部が掲載された。

(2) 栄養・食糧学用語に関する検討

学術用語の管理を行った。

5) 国際交流事業

(1) 日本学術会議 IUNS の分科会関係

令和2年5月18日に第24期第5回 IUNS 分科会がオンラインにて開催された

第25期 IUNS 分科会メンバーが決定した。(11名中本学会会員7名)

令和3年4月30日 1月25日に第25期 IUNS 分科会がオンラインにて開催された

(2) 22nd IUNS-ICN 関係

IUNS 本部と打ち合わせを行い、第22回国際栄養学会議の開催を2022年12月6日～11日に延期することとした。

(3) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)

インドネシアのFANS会長から推薦依頼があり、令和2年8月28日の2nd International Symposium on Food and Nutrition (ISFAN)において、神戸学院大学 藤岡由夫教授に Zoom による講演をお願いした。

同じく推薦依頼があり、令和2年10月9日の3rd ISFANにおいて、甲南女子大学 木戸康博教授に Zoom による講演をお願いした。

JNSV 誌の Supplement 号として 13th Asian Congress of Nutrition の Proceedings を発行した。

- (4) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係  
IUFoST Japan と連携し、新理事を推薦するとともにその事業を支援した。
- (5) 第 74 回大会の集会中止に伴って、韓国食品科学栄養学会 (KFN) との国際シンポジウムは誌上開催となった。

## 6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。

- (1) 倫理審査申請依頼 (申請書番号 90 番) に基づきメール審議で倫理審査委員会を開催、同意撤回書をつけてもらいその後審査結果に基づき承認

## < 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業 (公 2) >

### 1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(一財)学会誌刊行センターに委託している。

- (1) 日本栄養・食糧学会誌 第 73 巻 2 号～6 号、第 74 巻 1 号

#### ① 投稿状況

令和 3 (2021) 年 3 月 31 日現在 投稿数 (うち採択数)

受付日	全投稿数	総説	報文	研究ノート	資料	速報
平成 31 年 4 月	4(2)	1(1) <sup>注 1</sup>	1(0) <sup>注 2</sup>	1(1) <sup>注 3</sup>	1(0)	0
令和元年 5 月	3(2)	0	3(2)	0	0	0
令和元年 6 月	4(3)	2(2) <sup>注 4</sup>	0	1(1)	1(0)	0
令和元年 7 月	4(2)	2(2) <sup>注 4</sup>	2(0) <sup>注 5</sup>	0	0	0
令和元年 8 月	5(1)	1(1) <sup>注 6</sup>	2(0) <sup>注 7</sup>	2(0) <sup>注 8 注 9</sup>	0	0
令和元年 9 月	1(1)	1(1) <sup>注 10</sup>	0	0	0	0
令和元年 10 月	3(1)	0	3(1) <sup>注 11</sup>	0	0	0
令和元年 11 月	3(1)	0	1(1)	0	2(0) <sup>注 7'</sup>	0
令和元年 12 月	2(1)	0	0	2(1) <sup>注 5'</sup>	0	0
令和 2 年 1 月	0	0	0	0	0	0
令和 2 年 2 月	3(2)		2(1) <sup>注 12</sup>		1(1) <sup>注 8'</sup>	0
令和 2 年 3 月	1(1)	1(1) <sup>注 13</sup>	0	0	0	0
令和 2 年 4 月	2(1)	0	0	0	1(1) <sup>注 14</sup>	1(0)
令和 2 年 5 月	2(1)	0	2(1) <sup>注 15</sup>	0	0	0
令和 2 年 6 月	3(3)	2(2) <sup>注 16</sup>	0	0	1(1) <sup>注 12'</sup>	0
令和 2 年 7 月	1(1)	0	0	0	1(1)	0
令和 2 年 8 月	2(1)	1(0) <sup>注 17</sup>	0	1(1)	0	0
令和 2 年 9 月	4(4)	3(3) <sup>注 18</sup>	0	0	1(1) <sup>注 15'</sup>	0
令和 2 年 10 月	2(2)	1(1) <sup>注 19</sup>	1(1)	0	0	0
令和 2 年 11 月	1(0)	0	1(0) <sup>注 20</sup>	0	0	0
令和 2 年 12 月	2(1)	2(1・審査中) <sup>注 21</sup>	0	0	0	0
令和 3 年 1 月	1	0	1(審査中)	0	0	0
令和 3 年 2 月	1	0	1(審査中)	0	0	0
令和 3 年 3 月	4	1 <sup>注 16</sup>	3	0	0	0

※採否が確定していない論文がある月: 令和 2 年 12 月～3 年 3 月

注 1) 平成 30 年度技術賞 注 2) 種別変更(報文→研究ノート)のうえでの再投稿を促しての不採択

注 3) 過去に種別変更を促しての不採択となった報文が、研究ノートとして再投稿され採択

注 4) 令和元年度学会賞、奨励賞

注 5), 5') 2 報とも種別変更(報文→研究ノート)のうえでの再投稿を促しての不採択。その後再投稿され、1 報は採択、1 報は取り下げ

注 6) 令和元年度奨励賞

注 7), 7') 1 報は種別変更(報文→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿されるも不採択

注 8), 8') 1 報は種別変更(研究ノート→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿され審査中

注 9) 1 報は取り下げ 注 10) 令和元年度技術賞

- 注 11) 不採択のうち 1 報は種別変更(報文→研究ノート)のうえでの再投稿を促しての不採択  
 注 12) 12' ) 1 報は種別変更(報文→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択。その後再投稿され、採択  
 注 13) 令和元年度技術賞  
 注 14) 過去に種別変更(研究ノート→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択となったものが、資料として再投稿され、採択  
 注 15) 15' ) 1 報は種別変更(報文→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択。その後再投稿され、採択  
 注 16) 食事摂取基準 2020(第 73 回大会シンポジウム)の総説  
 注 17) 編集委員会から依頼をしたものではない総説 注 18) 令和 2 年度学会賞(1 報)、奨励賞(2 報)  
 注 19) 令和 2 年度技術賞 注 20) 著者により取り下げ(期間内の修正が難しいため)  
 注 21) 令和 2 年度奨励賞(1 報)、技術賞(1 報)

\*令和元(2019)年度 投稿論文 33 編  
 採択率 55% (取り下げ除く)  
 掲載可 17 編 (平均所要日数 79 日) 掲載否 14 編 (平均所要日数 44 日)  
 取り下げ 2 編 審査中 0 編

\*令和 2 (2020) 年度 投稿論文 25 編  
 採択率 78% (取り下げ及び審査中除く)  
 掲載可 14 編 (平均所要日数 79 日) 掲載否 4 編 (平均所要日数 22 日)  
 取り下げ 1 編 審査中 6 編

②発行状況

巻号	総説	報文	研究ノート	資料	速報	講座	書評	計
73-2	1	0	1	0	0	0	0	2
73-3	0	2	0	0	0	0	0	2
73-4	1	1	0	0	0	0	0	2
73-5	1	0	0	2	0	0	0	3
73-6	1	1	0	1	0	1	2	6
74-1	2	0	1	1	0	0	1	5
総計	6	4	2	4	0	1	3	20

③刊行状況

巻号	納本日	予定日
73-2	4月10日	4月10日
73-3	6月10日	6月10日
73-4	8月10日	8月10日
73-5	10月12日	10月10日
73-6	12月10日	12月10日
74-1	2月10日	2月10日

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会および FANS] (Federation of Asian Nutrition Societies) との共同編集 Vol. 66No. 2~No. 6、Vol. 67No. 1 の刊行

# JNSV編集委員会報告

2021年2月27日現在

理事会			分野別投稿数						分野別採択数						備考
資料提出日	Vol	年	Total	V	N	F	Review	Note	Total	V	N	F	Review	Note	
3月20日	66	2020	52	16	26	10	2	7	28	7	14	7	1	4	66-2まで
5月16日			82	23	47	12	3	9	39	9	19	11	1	6	66-3まで
7月11日			127	34	72	21	10	12	54	15	25	14	1	10	66-4まで
10月17日			190	52	111	27	19	26	69	18	32	19	2	13	66-5まで
1月11日			248	68	148	32	24	32	82	22	38	22	4	15	66-6まで
3月13日	67	2021	39	5	30	4	2	5	21	8	11	2	1	7	67-2まで

Total は、V、N、Fの

(各号の内訳)						
Total	V	N	F	Review	Note	巻号
13	3	8	2	1	2	66-1
15	4	6	5	0	2	66-2
11	2	5	4	0	2	66-3
15	6	6	3	0	4	66-4
15	3	7	5	1	3	66-5
13	4	6	3	2	2	66-6
10	4	4	2	1	3	67-1

J. Nutr. Sci. Vitaminol. 原稿状況 (2020年12月31日現在)															
Vol.	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
Vol. 58	投稿数	6	14	17	10	12	8	13	18	17	14	12	12	153	
	掲載数		No. 1 11		No. 2 11		No. 3 10		No. 4 12		No. 5 10		No. 6 11	65	
Vol. 59	投稿数	12	14	17	12	13	10	16	11	7	11	9	12	144	
	掲載数		No. 1 11		No. 2 12		No. 3 12		No. 4 15		No. 5 14		No. 6 16	80	*59-Suppl. を除く
Vol. 60	投稿数	13	17	13	11	11	9	15	13	11	7	16	10	146	
	掲載数		No. 1 10		No. 2 10		No. 3 10*		No. 4 12		No. 5 9		No. 6 14	55	*IUNS報告を除く
Vol. 61	投稿数	16	4	16	16	23	19	19	13	14	18	14	12	184	
	掲載数		No. 1 15		No. 2 14		No. 3 12		No. 4 10		No. 5 11		No. 6 13	75	
Vol. 62	投稿数	14	22	23	19	19	17	20	11	15	16	26	17	219	
	掲載数		No. 1 11		No. 2 10		No. 3 8		No. 4 10		No. 5 14		No. 6 9	62	
Vol. 63	投稿数	21	20	16	15	23	14	15	12	11	15	14	16	192	
	掲載数		No. 1 11		No. 2 9		No. 3 9		No. 4 9		No. 5 10		No. 6 11	59	
Vol. 64	投稿数	20	19	16	10	20	22	18	16	26	18	14	18	217	
	掲載数		No. 1 11		No. 2 10		No. 3 11		No. 4 11		No. 5 11		No. 6 12	66	
Vol. 65	投稿数	17	16	33	22	19	17	24	13	23	17	16	12	217	
	掲載数		No. 1 15		No. 2 15		No. 3 10		No. 4 10		No. 5 12		No. 6 12	74	
Vol. 66	投稿数	21	22	19	18	15	28	26	15	24	22	20	18	248	
	掲載数		No. 1 13		No. 2 15		No. 3 11		No. 4 15		No. 5 15		No. 6 13	82	

## JNSV投稿内訳および結果

Vol.	Year	Total No.*	V		N		F		R	Note		年間掲載数	頁
			投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	掲載数	投稿数	掲載数		
53	2007	134	22	16	92	51	20	21	2	18	17	88	577
54	2008	154	20	16	103	57	31	8	3	23	11	81	531
55	2009	165	23	10	112	56	30	12	1	28	16	78	538
56	2010	172	29	11	115	44	28	13	1	25	12	68	470
57	2011	167	28	8	104	49	35	8	2	24	10	65	460
58	2012	153	33	11	107	43	13	11	1	28	18	65	466
59	2013	144	27	22	96	51	21	7	4	24	20	80	614
60	2014	146	29	11	90	42	27	13	3	27	11	66	471
61	2015	184	39	14	113	46	32	15	0	29	17	75	543
62	2016	219	33	15	156	38	30	9	2	19	9	62	451
63	2017	192	33	12	123	36	36	11	1	26	6	59	446
64	2018	217	37	15	146	37	34	14	4	29	13	66	501
65	2019	245	44	17	158	51	43	6	5	33	16	74	573
66	2020	248	68	22	148	38	32	22	4	26	15	82	607

\* V, N, Fの合計。

採択数・却下数(2020.12.31現在)

論文提出日	2015/1/1-2015/3/30 (旧システム)	2015/3/31-2015/12/31 (新システム)	合計	採択率
採択数	14	31	45	
却下数	16	87	103	
合計			148	30.41%

注) 新システムでは採択率=採択数/採択数+却下数になります。

論文提出日	2016/1/1-2016/12/31			
採択数	63			
却下数	120			
			183	34.42%

論文提出日	2017/1/1-2017/12/31			
採択数	60			
却下数	117			
			177	33.90%

論文提出日	2018/1/1-2018/12/31			
採択数	77			
却下数	106			
			183	42.07%

論文提出日	2019/1/1-2019/12/31			
採択数	76			
却下数	135			
			211	36.02%

論文提出日	2020/1/1-2020/12/31			
採択数	64			
却下数	150			
			214	29.91%

②特定分野の編集委員の負担が大きくなっているため、委員の増員を検討し、1名決定。

③実際の採択率は30～42%であり概ね基準通りに採択されていること、採択までにかかる期間が長すぎることもなく順調に編集作業が行われている。(インパクトファクター1.424)

④編集委員の交代(2名)

## 2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

### (1) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関(大学・官庁等)からの情報、依頼記事(募集・告知等)について、広報推進を行った。

② ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的及び緊急的に情報を掲載

② 会員向けメールマガジン「栄食ニュース」は1回/月のペースで発信

ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下18号発信

2020-4(通算225号 4/8)、2020-4臨時号(通算226号 4/13)、2020-5(通算227号 5/11)、2020-6臨時号(通算228号 6/1)、2020-6(通算229号 6/10)、2020-6臨時号(通算230号 6/19)、2020-7(通算231号 7/10)、2020-8臨時号(通算232号 8/7)、2020-8(通算233号 8/11)、2020-9(通算234号 9/10)、2020-10(通算235号 10/12)、2020-11(通算236号 11/10)、2020-12臨時号(通算237号 12/2)、2020-12(通算238号 12/10)、2021-1(通算239号 1/13)、2021-2(通算240号 2/12)、2021-2臨時号(通算241号 2/17)、2021-3(通算242号 3/10)

③ 国内学術団体からの事業関連の連絡・通知

\* 日本学術会議

日本学術会議発行メールニュース(No.707～No.744)の周知の実施

\* 日本医学会

シンポジウム等の開催周知協力の実施

## III 管理業務報告

### (1) 内閣府からの通知・連絡対応

① 内閣府より

\* 公益法人メールマガジン(第94号～第118号)受理

\* 公益法人 information 様式チェック結果通知(提出可)(6/23)

\* 公益法人 information 補正依頼到達通知(6/24)

\* 公益法人 information 様式チェック結果通知(修正要)(6/25)

\* 公益法人 information 「事業報告等の提出」受付完了通知(6/25)

\* メール通知「事業計画書等の提出完了」(整理番号)の案内(3/30)

② 内閣府へ

\* 「国と特に密接な関係がある公益法人への該当性の有無」をHPに掲載(4/1)

\* 平成31年度・令和元年度事業報告書等をオンライン提出(6/25)

\* 令和3年度事業計画書等をオンライン提出(3/30)

### (2) 文部科学省

\* 令和2年度(第62回)科学技術週間について(依頼)

\* 令和3年度年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について(5/30受理、7/20回答)

### (3) 厚生労働省

\* 医薬品・医療機器安全性情報報告制度の周知

\* 医薬品・医療機器安全性情報 No.372～No.381の周知依頼

### (4) 農林水産省

\* 令和2年度食育白書への事例紹介のお願い(11/26)

### (5) 日本学術会議

① 日本学術会議発行メールニュース(No.707～No.744)の周知

② 日本学術会議の活動と運営に関するご連絡

③ 「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」(中間報告)に関するご連絡

④ 【日本学術会議】幹事会声明についてのご報告

⑤ 【日本学術会議】幹事会声明「新型コロナウイルス感染症対策の検討について」のご報告

### (6) 日本医学会・日本医学連合

① [ibunka-ml]の周知

② [all-member]の周知

③ 日本医学会だよりの掲載

④ 日本医学会に関するアンケートの回答

⑤ 2020年日本医学会分科会一覧記事送付

- ⑥ 日本医学会連合 2020 年度定時社員総会 (6/24)
- ⑦ 日本医学会連合「領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ」へのご参画
- ⑧ 2021 年加盟学会連絡協議会出席 (2/10)
- ⑨ 第 88 回日本医学会定例評議員会出席 (2/26)
- ⑩ 日本医学会連合臨時総会出席 (2/26)
- ⑪ 循環器病ガイドラインシリーズへのご参画

(7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可

- ・公益財団法人ダノン健康栄養財団「第 22 回ダノン健康栄養フォーラム」後援
- ・公益財団法人不二たん白質研究財団「公開講演会—大豆のはたらき in 福岡—おいしさと健康を通して」後援
- ・日本食品・機械研究会「第 18 回高付加価値食品開発のためのフォーラム」協賛
- ・トランスポーター研究会「2020 関東支部会」後援
- ・静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会「第 25 回静岡健康・長寿学術フォーラム」後援
- ・公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「令和 2 年度『食育健康サミット』」後援
- ・食品化学新聞社「ifia JAPAN 2021—第 26 回国際食品素材/添加物展・会議」HFE JAPAN 2021 第 19 回ヘルスフードエキスポ」後援
- ・一般社団法人日本摂食障害協会「世界摂食アクションデイ 2021」後援
- ・日本動脈硬化学会「第 19 回国際動脈硬化会議」後援
- ・一般社団法人日本キチン・キトサン学会「第 35 回日本キチン・キトサン学会大会」協賛
- ・公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間 2021」後援
- ・日本アミノ酸学会「第 6 回 JSAAS 産官学連携シンポジウム」協賛

(8) 利益相反 (COI) 関連

学会役員の COI 申告手続きについて Web 申告が出来るようになった。

COI 指針の一部を訂正し、平成 31 年 4 月 1 日より施行することになった。

JNSV の COI 管理指針作成し、令和元年 5 月の JNSV 編集委員会で最終確認の後、施行。それに伴い、JNSV 投稿規定も一部改定。

## IV 総会、理事会等の開催状況

(1) 社員総会

令和 2 年 5 月 23 日 (土) 13 : 30 ~ WEB 会議

(2) 理事会

第 1 回理事会	令和 2 年 4 月 25 日 (土)	13 : 30 ~ 16 : 10	WEB 会議
第 2 回理事会	令和 2 年 5 月 16 日 (土)	13 : 30 ~ 16 : 17	WEB 会議
第 3 回理事会	令和 2 年 7 月 11 日 (土)	13 : 30 ~ 17 : 27	WEB 会議
第 4 回理事会	令和 2 年 10 月 17 日 (土)	13 : 30 ~ 16 : 54	WEB 会議
第 5 回理事会	令和 3 年 1 月 11 日 (月)	9 : 45 ~ 13 : 15	WEB 会議
第 6 回理事会	令和 3 年 3 月 13 日 (土)	13 : 30 ~ 17 : 16	WEB 会議

(3) 臨時理事会

令和 2 年 5 月 23 日 (土) 14 : 43 ~ 15 : 00 WEB 会議

(4) 業務執行理事打合せ

第 1 回	令和 2 年 6 月 27 日 (土)	13 : 30 ~ 15 : 10	WEB 会議
第 2 回	令和 2 年 10 月 3 日 (土)	13 : 35 ~ 15 : 24	WEB 会議
臨時	令和 2 年 12 月 12 日 (土)	15 : 20 ~ 16 : 53	WEB 会議
第 3 回	令和 3 年 1 月 第 1 週		メール審議
第 4 回	令和 3 年 3 月 6 日 (土)	13 : 30 ~ 17 : 00	WEB 会議

(5) 名誉会員・顧問懇談会

令和 2 年 4 月 4 日 (土) 11 : 00 ~ 13 : 00 中止

(6) 栄養・食糧懇談会

第 2 回懇談会 令和 2 年 4 月 11 日 (土) 14 : 00 ~ 15 : 00 WEB 会議

(7) 名誉会員・終身会員推薦委員会

令和 3 年 1 月 6・7 日 (水・木) メール審議

(8) 将来構想検討委員会

令和 2 年 7 月 11 日 (土) 11 : 00 ~ 12 : 00 WEB 会議